

## 4月から新しい看護師さんが着任しました!

4月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の柴田琴乃さんです。柴田さんは、東日本大震災発生時に被災者の方々のために奔走する看護師さんの姿をテレビで見て、自分も困っている人たちを支える仕事がしたいという想いから看護師を志したそうです。慣れない土地に来て不安を感じることも多いそうですが、只見の人たちは本当に優しく、困ったことがあるといつも助けてくれる。より地域と密接なこの診療所で多くのことを学びたい、と明るく話してくれました。



柴田 琴乃さん  
(出身/会津若松市)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



### 「住民の皆さまの安心のために」

テレビや新聞による報道、広報ただみの記事などでご存じの方もおられると思いますが、2019年3月末で看護師さん複数名の退職があり、医師数も4名から3名に減りました。少し忙しくはなりましたが、新体制への移行も済み、落ち着いてまいりました。

看護師は少なくなりましたが、ほぼ今まで通りにできることも多いです。外来はこれまで通り平日は毎日午前・午後と診療しております。夜間・休日の診療についても、緊急性のあるものについてはお電話で相談いただいたうえで対応しております。救急車対応も休日・夜間を問わず対応いたします。できる検査のほうも内視鏡検査は週1回程度で継続しますし、その他これまで診療所で実施できていた検査などは変わりなく行えます。入

院診療については縮小を余儀なくされておりますが、訪問診療については、より利用しやすいように、費用負担の軽減や往診（定期的に訪問診療を受けている方に限り）の実施も始めております。希望される方には自宅でのお看取りについても不安なく選択してもらえよう工夫しております。訪問看護についても、定年退職をむかえたベテラン看護師の助力もあり継続できております。

朝日診療所は、住民の皆様の安心した暮らしを支えるべく、継続的な医療の提供を行います。専門的な治療はできないものもありますが、からだや心に関するあらゆる健康問題の相談に乗り、町内外の医療機関・保健福祉機関との連携の要としてあり続けたいと思います。変わりゆく社会・時代の流れに合わせ、職員一同は自己研鑽や工夫を重ねてまいります。

今後ともどうかよろしくお願いいたします。

## 地域おこし協力隊として

Vol.54

只見町山村振興協力隊

ふじぬま こうへい  
藤沼 航平



### 「雪と冬のポテンシャル」

この冬、「本物の雪遊び体験」という題で毎週土日都会の方向けにツアーを組ませていただきました。都会の方にとって（私にとって）、只見の「雪」は本当に魅力のあるもの。住むと「雪」が嫌になるぞ。と言われ2年過ごしましたが、私の中ではますます只見の「冬」や「雪」は心をワクワクさせるものになりました。

今回の肝は2つ。只見の冬を生かし、スキー・除雪以外でお金を生み出したこと。そして、雪まつり以外で観光集客ができたこと。まだまだ本物の雪国で掘り起こせるものはあると感じられまし

た。※詳細は森林の分校ふざわ公式ホームページやFacebookに掲載

私のミッションは分校を拠点に山村のくらしを都会の皆さまに触れてもらうこと。2年目の冬にしてようやくやりたいことが少しできてきたかな？と思っております。協力隊最終年度は、既に只見には充実した夏の体験プログラムがあるので、それらを上手くつなぎ合わせることをそのための新しい取り組みを行うこと。を目標としたいと思えます。

最後に、雪遊び体験に携わっていただいた関係者の皆様、布沢集落の皆様にお礼を述べさせていただきます。引き続き閉めの文章といたします。